

---

# 無能力者と能力者

黒鎌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無能力者と能力者

### 【Nコード】

N8022M

### 【作者名】

黒鎌

### 【あらすじ】

ごく普通の平和な世界

ごく普通の一般人

ごく普通の高校二年

そんな俺、菅原風真は、世界の”裏”について知ってしまう

世界の”表”は平和な世界

世界の”裏”は魔術や能力の蔓延る世界

みんなの知らない事実を俺は隠し通せるのか

そして、無能力者（一般人）の俺は、どこまで戦えるのやら

## 一章 いつもの日常

修学旅行、班割！！

そう委員長が黒板に書きなぐる

「この班は修学旅行においてずっと共にする班だ！部屋もな！だから慎重に考えろよ！！」

委員長の言葉にクラス中の人間が散り、各自、友人の元へ向かって行く

今日は担任が不在のため、このような時間は積極的に委員長が取り組む事になっている

ひらかわら  
私立平香春高校、2年5組

賑やかで、ごく普通のクラス

学校自体は一年は9クラス

二年は10クラス

三年も10クラス

と、割りと大きな高校である

「おい、俺と班組もうぜー」

「やだよ、お前と組んだら…なんとなくやだ」

「ひでえ！」

と、このようにクラスはざわついている状態

ちなみに修学旅行の班は

男女3人づつで行動、部屋は男女わかれることになっている

行き先は北海道、初めての旅行にもなる人もいるはず（多分）なので浮かれるのは仕方がないのであろう

「おーい！風真さんやーい！」

「俺らと組まないか〜！」

そんな中、二人組みが菅原に話し掛けてくる

「ふっふっふっ…」

「?!?」

菅原は不適な笑みを浮かべる

「嫌だ！」

「何でだああああ!!」

二人組みを拒絶した菅原は怒鳴られる

この二人組み、菅原の友人の棚田と諸井である

「だってよ、お前等とは休み時間、いつも話してんじゃん」

「うんうん」

諸井は相槌をうつ

「だから、他の人との交流も…」

「言うと思ったぞこんちくしょおおお!!」

なんなんだ、この二人のシンクロ率は、と思いつつ彼らから離れようとする

しかし、両腕を捕まれ

「委員長〜！俺ら三人決定！」

「おう！わかった！」

棚田の叫びにより、いつの間にか班が決定した

「なんで勝手に決めてんだああ!!」

菅原の無念の叫びはクラスのざわつきに消されていた

\*

昼休み

「修学旅行もよろしくな！風真」

「足引っ張るなよ〜」

「なんのだよ！」

彼らは食堂に向かっていた

食堂はこの学校の全生徒の憩いの場である

人気メニュー、カレーは早めに並んでおかないと食べれないほどだ

「さて、今日は何を食べようかねえー…」

諸井の呟き

「お前は…これだな」

そう言い、菅原は

限定！超激辛！カレー！¥500

完食すれば料金払い戻し

と書かれている手作り看板を指す

「おお…面白そうだ」

彼はカウンターへ突っ走り

「おばちゃん！激辛カレー一つ！」

「あいよ！」

「アホだ」

取り残された棚田と菅原の二人の呟きは不思議にもシンクロしていた  
実はこのメニュー、どの生徒も手をつけてないのだ

食堂のおばちゃんが一口食べた感想が

「なんか川が見えた気がする」

という発言だからだ

だから、このメニューは誰も食べてない未知のメニューなのだ  
そんなメニューに、勇者・諸井は挑戦する

「ふふふ…こいつぁ、うまそうだ…」

「……………」

三人食堂の机に並んで座っている

しかし、菅原と棚田の選んだうどん、と諸井の激辛カレーにはあまりにもギャップがあつた

さらに、諸井には他の生徒たちが注目している

菅原は諸井の肩をポンツ、と叩き

「諦めるなら今のうちだぜ？」

「諦めるかよ…俺は…」

うおおおおお!!!

と叫びとともに激辛カレーはドンドン諸井の口に運ばれていく

おおおおおお!!!

と野次馬生徒たちも歓声をあげている

が、激辛カレーが半分をきつたところで諸井の顔は青ざめていく

「諸井く、大丈夫かいな」

棚田は諸井の前に水を差し出す

が、諸井はピクリとも動かず

「か…」

諸井が口を開く

「辛いに決まってるだろおお!!!なんで俺はこんなメニューを選んだ!!!うおおお!!!」

諸井は真つ赤な顔で食堂を飛び出していく

一体どんな作り方すればこんなカレーになるんだ、と菅原は味見してみる

「おい、菅原!?!」

棚田は止めようとしたが遅かった

カレーは既に彼の口に運ばれている

「…意外にいけるじゃねえか、コレ」





## 一章 いつもの日常（後書き）

一話、どうだったでしょうか

まだなんの事件も起こってないのでなんとも言えないでしょうけど、

この作品のテーマは「日常・非日常」です

一話のような日常パートもありますし、目玉の非日常（能力、魔術関係）パートもあります

これからの展開に期待してくれば幸いです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8022m/>

---

無能力者と能力者

2010年10月11日18時49分発行